

## 2四 資料や機器を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫する

2 村田さんは、国語の時間に、学校の活動を地域に広げるアイデアについてスピーチをする学習に取り組んでいます。村田さんは、青木さんとあなたにスピーチのリハーサルを見てもらい、助言を求めています。次の【村田さんのスピーチ】と、〈スライド①〉から〈スライド⑤〉までを読んで、あとの問いに答えなさい。



(国立教育政策研究所 HP)

四 村田さんは、【村田さんのスピーチ】の [ ] の内容をより分かりやすく伝えるために、〈スライド⑤〉を工夫したいと考え、あなたに助言を求めています。あなたなら、どのような助言をしますか。あとの【工夫の仕方】のAからCまでの中から1つ選び(どの【工夫の仕方】を選んでもかまいません。)、条件1と条件2にしたがって、村田さんへの助言を書きなさい。  
なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

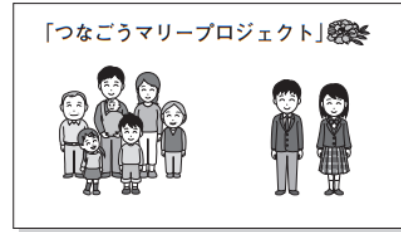
【村田さんのスピーチ】の [ ]

今行っている活動を工夫することで、私たちのマリーゴールドと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、マリーゴールドでつながったら、すてきだと思いませんか。

【工夫の仕方】

- A 〈スライド⑤〉に、言葉を加える。
- B 〈スライド⑤〉のイラストを修正したり、イラストを付け加えたりする。
- C AとBとを組み合わせる。

〈スライド⑤〉



条件1 選んだ【工夫の仕方】について、どのように工夫するかを、具体的に書くこと。

条件2 条件1で工夫したことにより、どのように分かりやすくなるかについて、 [ ] の内容を具体的にに取り上げて書くこと。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

ウ 資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫すること。

《表現、共有(話すこと)》

### ■正答及び正答率等

正答	正答率	誤答率	無答率
(正答の条件) 次の要件を満たして解答している。 ① 【工夫の仕方】のA、B、Cのいずれか一つを選んで、その記号を塗りつぶしている。 ② 選んだ【工夫の仕方】について、どのように工夫するかを具体的に書いている。 ③ 工夫することで、どのようにわかりやすくなるかを書いている。 ④ ③について、 [ ] の内容を適切に取り上げて書いている。	23.2%	73.8%	3.0%

### ■主な誤答とその要因

主な誤答	要因
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条件④のみ満たさないで解答している。(反応率 22.9%)</li> <li>・ 解答を記述しているものの、条件を二つ以上満たさないで解答している。(反応率 47.7%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自ら考えた工夫を伝えたい内容と関連付けて適切に取り上げて書くことに課題がある。</li> <li>・ 伝えたい内容を的確に読み取り、資料や機器を効果的に使って表現を工夫することに課題がある。</li> </ul>

## 内容の系統と指導のポイント

### 小学校第5・6学年

教科書のここ！  
小5 P.222

教科書のここ！  
小6 P.226

資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫して話す

令和6年度全国学力・学習状況調査（小学校）

1二(2) オンラインで交流する場面における話し方の工夫として適切なものを選択する。  
〈正答例〉 2

正答率55.9% 誤答率43.1% 無答率1.0%（広島市）

A 話すこと・聞くこと ウ

資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。



（国立教育政策研究所 HP）

### 中学校第1学年

教科書のここ！  
中1 P.234

自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す

令和4年度全国学力・学習状況調査（中学校）

1三 スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く。  
〈正答例〉私は、自分が一番伝えたいことに着目してもらうために、「この言葉を聞いてはっとしました。」のあとに少し間を取ります。

正答率54.0% 誤答率32.1% 無答率13.9%（広島市）

A 話すこと・聞くこと ウ

相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。



（国立教育政策研究所 HP）

### 中学校第2学年

教科書のここ！  
中2 P.32

Point

資料を用いて自分の考えを分かりやすく伝えるために、話題の設定から共有までの学習の過程を往還的に繰り返す場面を設定する。

資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話す

令和6年度全国学力・学習状況調査（中学校）

1二 話し合いの中で発言する際に指し示している資料の部分として適切な部分を○で囲む。  
〈正答例〉〈図〉の○の内側の部分を囲んでいるもの  
正答率69.1% 誤答率28.1% 無答率2.8%（広島市）

A 話すこと・聞くこと ウ

資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。



（国立教育政策研究所 HP）

### 本設問の活用の手順

〔資料や機器を用いて自分の考えを伝えることの意義や効果について考える活動〕

- ① 本設問を活用して伝えたい内容と資料の関係性について理解し、自分の考えを伝える際に資料や機器を用いる意義を捉える。
  - ② 話の内容が十分に踏まえていないスライドを示し、改善案を検討する。
  - ③ それぞれが考えた改善案について交流し、話の内容が伝わりやすくなるような改善となっているか話し合うことを通して、資料に効果的な工夫を加える観点を得る。
- ※ プレゼンテーションなどの言語活動の前にこの活動を行うことで、①～③の活動を踏まえながら主張の妥当性や聴衆の納得感を意識した資料を作成することが期待される。